

畜産人材育成研修生が研修を終え、新たな担い手へ

当センターでは、府内で畜産業に携わる人材を育成するため、令和2年度から畜産人材育成研修を行っており、3月11日に、酪農を志望する第5期生1名が2年間の研修を終え巣立ちました。

研修生は、1年目に基礎的知識を身につけ、2年目には家畜人工授精師や受精卵移植師の資格を取得し、また当センター以外にも数々の酪農インターンシップを経験するなど、着実に実践力を身に付けていきました。

4月からは新たな牧場で就業が決まっており、研修生が立派な酪農の担い手として活躍されることを期待しつつ、今後もさらなる畜産人材の確保に努めていきます。



研修生を囲んで記念撮影